

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公表番号】特表 2007-521764 (P2007-521764A)
 【公表日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-029
 【出願番号】特願 2006-534311 (P2006-534311)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

H 0 4 J 3/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 N

H 0 4 J 3/00 H

H 0 4 J 3/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 1 日 (2007.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トランシーバによる通信方法であって、
システム不在グループ環境においてグループの一部である移動体トランシーバから同期
情報を受信する同期情報受信工程と、

同期情報を用いて移動体トランシーバに同期する同期工程と、

所定の期間が経過するより前にグループの別のデバイスが発信を開始する場合、別のグ
ループ休止期間が所定の期間を超えることが検出されるまで確立された同期をグループが
維持するように、グループ内の伝送の中断に続く所定の期間に渡ってグループ活動が検出
されなくなるまで移動体トランシーバとの同期を維持する同期維持工程とからなる方法。

【請求項 2】

同期情報受信工程はタイミングオフセット及び周波数オフセットを受信する工程を含む
 請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

移動体トランシーバと同期されたタイムスロットにてプレアンプルを含む伝送要求を発
 信する工程を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

伝送要求は同期情報を含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

同期されたタイムスロットをランダムに選択する工程を含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

トランシーバによる通信方法であって、
システム不在グループ環境において複数のトランシーバにグループを形成する同複数の
トランシーバとのグループ同期を確立させる同期情報を発信する同期情報発信工程と、
所定の期間が経過するより前にグループのトランシーバのうちの 1 つが別の発信を開始
する場合、別のグループ休止期間が所定の期間を超えることが検出されるまで確立された

同期をグループが維持するように、グループ内の伝送の中断に続く所定の期間に渡ってグループ活動が検出されなくなるまで同複数のトランシーバとの同期を維持する同期維持工程とからなる方法。

【請求項 7】

同期情報発信工程はタイミングオフセット及び周波数オフセットを発信する工程を含む請求項 6 に記載の方法。